

- ・森林と社会を巡る情勢の変化に対応した森林環境教育・木育を推進するため、ビジョンを策定
- ・みえ森林教育の基本的考え方、目標とする社会と人物像、取組の進め方を規定

ビジョン策定の動機 (森林・社会を 巡る情勢変化)

森林と社会の持続可能性を追求する上で、森林と私たちの関係を見つめ直すことが不可欠

充実する森林を木材のみならず、さまざまな産業を展開する空間として活用し、森林を整備・更新することが必要

みえ森林教育の基本的考え方 (今後の森林教育の果たす役割)

森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育

森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育

自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育

取組の進め方

森林教育の裾野の拡大

- 森林教育に気軽にアクセスできる場や機会の拡大
- 保育や教育への森林教育の更なる普及
- 大人や企業を対象とした森林教育の拡充

子どもから大人まで一貫した教育体系の構築

- 新たなみえ森林・林業アカデミーにおける森林教育と林業人材育成の統一的視点の下での推進
- 林業・木材産業に従事する方との連携強化

主体的・対話的で深い学びの充実

- 主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の普及
- 森林をフィールドとした体験活動の機会の拡大

指導者の養成

- ビジョンの指導者への共有
- 指導者養成講座の体系化

【目標とする社会】

森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会

【目標とする人物像】

森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人

